

マルコガタノゲンゴロウ

コウチュウ目ゲンゴロウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

Cybister lewisianus Sharp

選定理由

池沼の開発、ため池の管理放棄、ほ場整備によって生息地が激減したうえに、外来種の侵入や採集圧によって、西日本の個体群を中心に絶滅の危機に瀕している。県内でも近年、生息環境が急速に悪化している。

形態

体長21～26mm。体型は卵形で丸みが強い。背面は暗緑色～褐色で光沢がある。腹面は全体に黄～赤褐色で側方および各腹節後縁は黒褐色。前胸背板・上翅側縁は黄色。幼虫は約50mmのいも虫状。

国内分布

本州および九州の十数県。各県における生息地数はそれぞれ数箇所以下。

県内分布

能登北部の平野部～丘陵部。

生態

成虫は5月頃から活動を開始し、水草の茎に産卵する。幼虫は5～8月に出現し、水生昆虫などを捕食する。老熟幼虫は岸辺の土中で蛹化する。新成虫は8月頃から出現し、10月頃より水中で越冬する。成虫も肉食である。

生息地の条件

ジュンサイ、ヒシなどの水生植物が豊富で、水質が良く、岸辺が緩やかな比較的大きなため池。

生存の危機

池沼の開発による消失、ため池の管理放棄、ため池改修事業に伴うコンクリートやゴムシートによる護岸化、生活排水や農薬等による水質汚染、オオクチバスやアメリカザリガニなどの外来種の侵入やコイの導入、過剰な採集圧が大きな脅威となっている。外来種の駆除、ため池の水管理の継続、遠浅の池の創出などによるため池群としての保全、地域住民による監視が重要であり、実施されつつある。(A, B, C)

特記事項

石川県指定希少野生動植物種(2006年)に指定されている。

参考文献

山口英夫・荒木克昌 2001. マルコガタノゲンゴロウ石川県で記録(第1報), (第2報). 翔, (151): 1, (152): 1-2.
西原昇吾・苅部治紀・富沢 章 2007. 農村における水生昆虫の保全. 自然再生のための生物多様性モニタリング 鷺谷いづみ・鬼頭秀一(編). 東京大学出版会. 東京.



写真提供者:富沢章

分布図はありません。

県内の分布